



チマチョゴリを着て華麗に踊る児童たち

記念イベントが盛大に ゆうゆう交流館3周年

「道の駅」黒井山グリーンパークのゆうゆう交流館で、4月15・22日の両日、「ゆうゆう交流館」3周年記念イベントが行われました。

15日は、名刀太鼓や韓国五太鼓の太鼓コラボレーションで、大勢の皆さんが、太鼓の演奏を楽しみました。

22日は、牛窓西小学校5・6年生が「韓国舞踊プチエチュム(扇の舞)」を披露。チマチョゴリを身にまとった女子児童が、華麗に舞う姿に、拍手がわいていました。

またこの日は、世界のクラシックカーが集結する「ボンテペルレ2007」も開催。市内外から大勢のクラシックカーファンが集い、歓声を上げる姿が見られました。



だんじりを引きながら勇壮に練り歩く皆さん

勇壮に練り歩く

大賀島権現祭

4月29日、大賀島寺境内で権現祭が開催されました。

午前は、豊安・邑久郷・仁生田・円張の子どもたちが、日ごろから練習を重ねてきたしゃぎり(太鼓や笛などではやす鳴り物)を奉納。その後、子どももちつき大会が盛大に行われました。

大に行われました。午後は、法被を着た子どもたちを乗せただんじりが、大人たちに引かれ、大勢の皆さんが、祭りを楽しんでいました。また、みこしや子どもみこしも境内を練り歩き、祭りを盛り上げていました。

大勢の皆さんが楽しんだ

春の寒風陶芸展

寒風陶芸会館で、5月3～5日の3日間、春の寒風陶芸展が開催されました。

大勢の家族連れや友人のグループが、土ひねりに挑戦したり、絵付け体験をしたりしました。出来上がった作品は、後日窯で焼かれ、思い出のオリジナル作品として、本人に届けられます。

また会場では、寒風陶芸の里の作家による作品の展示や備前焼のワゴンセールも行われ、来場者は、熱心に作品を見学していました。



土ひねりに挑戦し、思い思いの作品づくりに夢中

いつまでもお元気で

久山又さんが満100歳に

4月14日に久山又さん(長船町牛文)が、100歳を迎えました。

4月16日、大手悟郎備前県民局健康福祉課長や東原和郎副市長らが、お祝いに自宅を訪問。久山さんは、東原副市長らの訪問を大変喜び、「皆さまのおかげで、今まで元気に暮らしてこれました。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。

昔は趣味として短歌を詠み、今はデイサービスで「岸壁の母」などの懐メロを歌っているという久山さん。これからもお元気で過ごしてください。



お祝い状を受け取り、感謝の言葉を述べる久山さん(左)

世界に開かれた地域社会を目指す

市国際交流推進協議会設立総会

瀬戸内市役所で4月27日、瀬戸内市国際交流推進協議会設立総会が開催されました。この協議会は、市民の国際感覚と国際理解を深め、世界に開かれた地域社会づくりと国際社会の発展を目的に設立されました。

立岡脩二市長が「韓国密陽市との友好交流協定を契機に、交流の気運が高まっている中、これからますます重要になる国際交流に力を注いでいきたい」とあいさつ。その後、今後の事業計画などが協議されました。

協議会ではこれからの事業として、朝鮮通信使訪日400周年記念事業や国際貢献カンボジア派遣事業などを予定しています。



『清流登り打ち』を披露する美和っ子太鼓の皆さん

地域を挙げて盛り上げる

須恵古代まつり

須恵古代館周辺で5月3日、須恵古代まつりが開催されました。

地域の子どもたちが古代の道具を使い、火おこしに挑戦。もくもくと立ち上った火が灯火台に点火され、オープニングを飾りました。

その後、美和小学校の5、6年生による美和っ子太鼓の皆さんが、そのいの法被で登場し、『清流登り打ち』を披露。また、名刀太鼓の勇壮で華麗な演奏にも、会場から惜しみない拍手が送られていました。

この古代まつりも、今年で12回目。会場周辺では、地元の人々が屋台を構えるなど、地域を挙げて祭りを盛り上げていました。



いろいろなことが協議された瀬戸内市国際交流推進協議会設立総会